

京都府で点検支援技術の現場デモを実施しました！

～京都府メンテナンス会議・近畿道路メンテナンスセンター～

- 京都府内の道路メンテナンス会議構成員を対象に、構造物点検に関する新しい技術のデモを行いました。
- 新技術の活用は、効率化によるコスト縮減、高度化による品質の向上につながることから、積極的な利用を推進しています。



日 時: 令和4年11月10日(木)

場 所: R171久世橋(京都府京都市南区久世川原町)

デモ技術: 光波測量機「KUMONOS」及び高解像度カメラを組み合わせた高精度点検システム「シン・クモノス」
コンクリート構造物変状部検知システム「BLUE DOCTOR」

参加者: 京都府内の道路管理担当者(12団体27名参加)



【当日の主な質問と回答】

Q1. シンクモノスはどのぐらいの距離まで点検できるのか？

A1. 傾斜の有無にもよりますが、正面であれば、120m先まで点検可能です。

Q2. BLUE DOCTORは、たたき落としも可能なのか？

A2. 出来ませんが、ランプにてうきが発生している深さがわかりますので、たたき落としの範囲検討には使えます。

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター 技術課 TEL 072-800-6222 (代表)
国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所 管理第二課 TEL 075-351-3300 (代表)